

平成28年度第1回池田市発達支援システム検討委員会次第

と き：平成28年8月30日（火）

午後3時～5時

ところ：市役所7階 大会議室

案 件

（1）27年度の取り組みについて

（2）28年度の取り組みについて

（3）大阪府における発達支援に関する取り組みについて

（4）各委員からの案件について（意見交換）

（5）その他

27年度の取り組みについて～決算状況と事業報告～

1. 発達支援システム推進事業

【事業概要】

乳幼児期の早期発見から学齢期を経て成人期までの一貫した支援を実施するため、発達支援システムの推進を図りました。また、いけだつながりシート Ikeda_s や「かおテレビ（注視点検出装置）」運用に係るコンサルテーション等を大阪大学に委託しました。

国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）の対象事業として、研究委託料と『池田市発達支援Map』の作成費用を執行しました。

【事業費】

2,843,062円（うち一般財源91,854円）

【実施状況】

- ①いけだつながりシート Ikeda_s 普及啓発（配布 416 部）
- ②かおテレビ（注視点検出装置）運用（協力者 173 人）
- ③池田市発達支援Map作成（3,000 部）・配布（約 2,000 部）
- ④発達支援研修会・講演会（7 回）
- ⑤いけだつながりシート Ikeda_s の電子化を検討

2. 就学前児発達支援事業

【事業概要】

児童の発達支援環境を総合的に整えるため、公私立保育所、私立幼稚園、留守家庭児童会等への巡回支援、支援者や保護者対象の研修会、発達相談、発達検査及びグループ療育を実施しました。

【事業費】

215,228円（うち一般財源6,632円）

【実施状況】

- ①巡回支援（公私立保育所 15、私立幼稚園 9、公立こども園 1、留守家庭児童会 11）
延べ 134 カ所、452 人
- ②ケースカンファレンス 延べ 80 回
- ③出前講座 4 回
- ④発達検査・発達相談 延べ 142 回
- ⑤グループ療育 12 人、全 37 回

3. 障がい児通所支援事業

【事業概要】

障がい児の療育等の支援を行うため、障がい児通所施設での児童福祉サービス給付費及び医療費を給付しました。

【事業費】

149,152,397円（うち一般財源38,069,726円）

【給付状況】

児童発達支援サービス	17施設	延べ	789人
医療型児童発達支援	1施設	延べ	105人
放課後等デイサービス	36施設	延べ	1,114人
保育所等訪問支援	2施設	延べ	10人

4. 障がい児福祉手当給付事業

【事業概要】

重度障がい児の経済的負担を軽減するため、障がい児福祉手当を給付しました。

【事業費】

7,745,160円（うち一般財源1,936,290円）

【給付状況】

受給者 46人（年度末現在）、給付人数 延べ537人、手当額 月額14,480円

5. 障がい児タイムケア事業

【事業概要】

発達障がい児と知的障がい児を対象に、児童間の交流や保護者の負担軽減のため、夏休み期間中の活動の場を提供し、グループ活動や全身を使った運動遊び等を行いました。

【事業費】

41,325円（うち一般財源209円）

【実施状況】

実施回数 6回（夏休み期間中の毎週月曜日）、参加人数 16人

28年度の主な取り組みについて～現状と今後の予定～

1. 発達支援システム推進事業

- ①いけだつながりシート Ikeda_s の配布：128部（28年7月末）
- ②かおテレビの実施：協力者52人（28年7月末）
- ③発達支援研修会・講演会：3回（28年7月末）
- ④電子サービス e-Ikeda_s を6月から開始：登録者254人（28年7月末）



※2歳以下が利用の場合は、ベビーモニターを無料でレンタル。

※市立学校園の教職員に対して、あらためてIkeda_sの周知を行うとともに、29年度のe-Ikeda_sの本格運用に向けた準備を進める。

2. 障がい児通所支援事業

28年度1／3半期（4～7月）の給付費：55,070,825円

利用者数：延べ711人

【参考】池田市内の通所施設数：10カ所

3. 障がい児タイムケア事業

実施回数：6回（夏休み期間中の毎週月曜日）

参加人数：15人（小学2年生～高校3年生）

4. 大阪府の事業を活用

- ①障がい児通所支援事業者育成事業（事業所研修）

事業所の質の担保を図るため、市内の事業所を中心に開催（秋ごろを予定）

- ②ペアレントサポート事業（ペアレント・メンター派遣事業）

やまばと学園で養育者を対象にした勉強会を開催（年明けを予定）

- ③ペアレントサポート事業（ペアレント・トレーニングインストラクター養成研修）

健康増進課保健師2人が参加（7～9月に開催。2回1クール）

OSAKA



平成28年
2016

6・1
第1147号

人と緑のハーモニー

特集

「いいですよーイケダス」

生涯の成長と発達の様子を記録する「イケダス」の電子版が6月から先行サービスを開始します。



主な機能を紹介

・子育てのヒントがコメントで届く

step1

質問に対して現在の
子どもの様子を選択し
ます。



step2

回答結果には現在の
成長状況が表示されま
す。またそれに対する
子育てのヒントになる
コメントも。



・成長の変化がグラフで

定期健診や日々の身
長・体重の記録がグラフ
化されます。



・子どもの記録をアルバムで

子どもの成長を写真
で残すことができ、い
つでも成長の経過を振
り返ることができます。

ご利用はコチラから



<https://www.mchh.jp/login?lgcode=27204>

検証しながら、よりよい
ものをめざします

今回電子化を実施するのは、「Ike
d_a_s」の一部です。具体的には、
毎月1ページを電子化したものを3カ
月間提供し、利用者の声を参考にし
ながら、29年4月には全ページ提供
をめざすというものです。

なお、6月からの先行サービス期
間だけでなく、来年度からの本格実
施についても利用者の使用料は無料
です（通信料はかかります）。

また、保育所の入所など、市の窓
口での各種申請時に、「e-keda_s」
の必要な項目を提示（印刷）するこ
とで受け付けが可能になるなど、さ
らに利用者の利便性が向上するよう
、検討を進めます。

セキュリティ面も安全

今回の利用では住所、氏名、電話番
号といった個人情報への入力が必要あ
りません。ただし、年齢に応じた健
診や予防接種などのお知らせの配信
同年齢児の成長グラフの作成などの
ため、生年月日の入力が必要です。

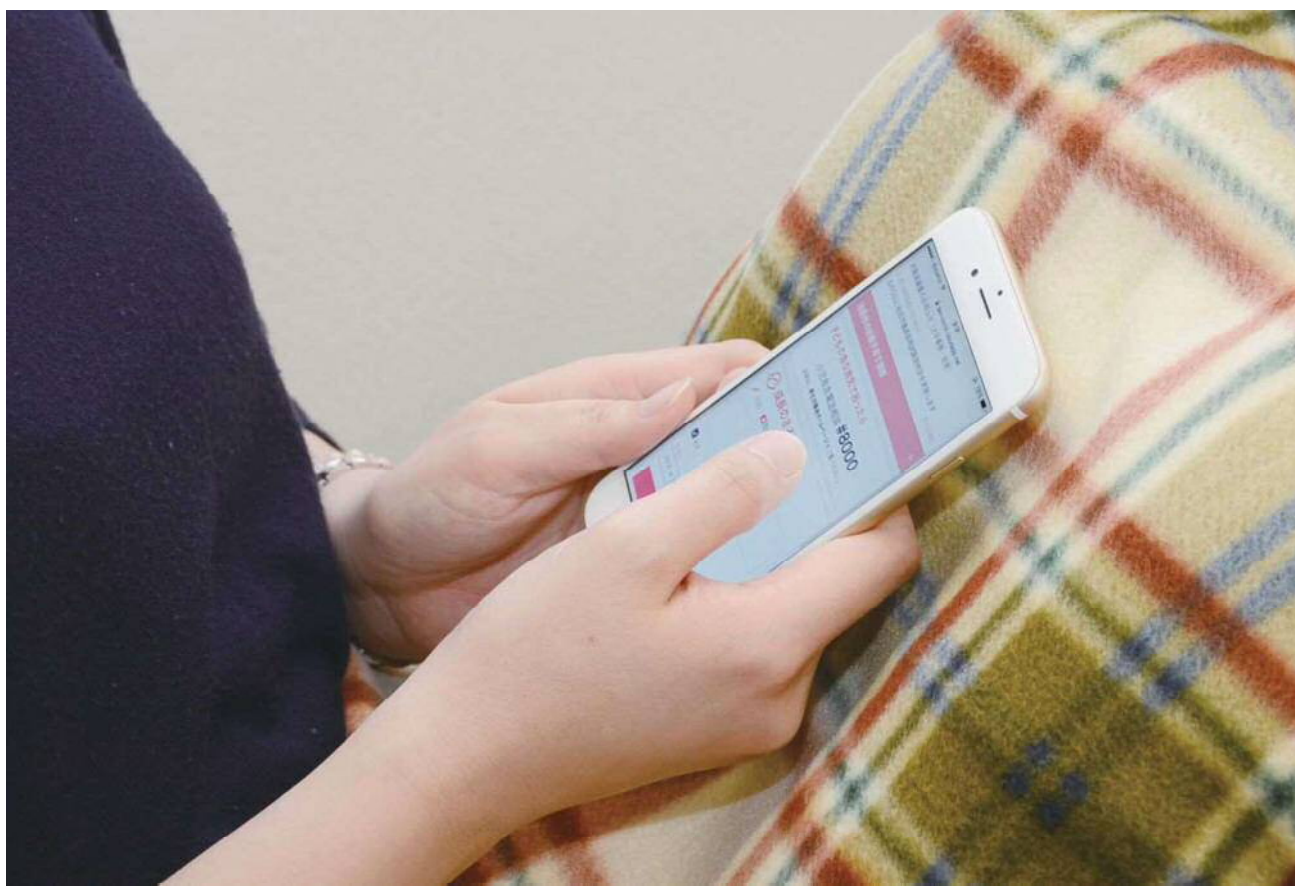
また、通っている学校園などを選
択してもらい、将来的には学校園か
らのお知らせも届く環境を整える予
定です。

官学民がスクラムを組んで



「Ike_d_a_s」は本市の発達支援シ
ステム構築のツールとして、大阪大
学への研究委託の一環で、各関係機
関の協力のもと、24年度末に完成し
ました。このように関係機関が協力
して、共通のツールを使用するとい
うのは全国的にめざらしい取り組み
です。

また、今回の「e-keda_s」の実
施については、大阪大学をはじめ、
電子母子健康手帳のシステム開発な
どを行っている（株）エムティーア
イが同学と共同開発を行い、企画面
などでソフトバンク（株）が社会貢
献活動として参画し、連携しながら
進めてきました。今回のサービス提
供開始に伴い、このほど本市を含め
た4者間で協定を締結、今後もあり
良いツールの実現はもちろん、最終
的には本市だけでなく、全国どこで
も使用できる「池田発・全国初のツ
ール」をめざします。



いいです

6月からスタート

e-Ikeda_s (イーイケダス)

成長記録はスマホでどうぞ

問い合わせは発達支援課 (☎ 754・6102)

皆さんの成長や発達の様子を、生涯にわたって記録することができる冊子『いけだつながりシート Ikeda's (イケダス)』をご存じですか。発達支援課や教育センターなどの窓口をはじめ、1歳6カ月児健診の際にも配布している、母子健康手帳の延長版のことです。より多くの方に利用いただこうと、利便性の向上と冊子ではできない機能を加えた電子サービス「e-Ikeda's」[※]として、6月から先行サービスを開始します。

スマホに成長を記録
子育てのコントも

「e-Ikeda's」では、インターネットに接続できる環境であれば、いつでもどこでも子どもの成長の記録を残すことができます。

また電子版には、現在の様子を記録すると、それに対してコメント(それぞれ得意なことを生かすアドバイス)が返ってくる機能や、成長の変化をグラフで見える機能も加わりました。さらに年齢に応じたお知らせが市から届く機能などが新しく追加(3^{ページ}参照)。成長記録を残すだけでなく、子育てのヒントとしても活用することができます。

※「Ikeda's」は全年齢が対象ですが、今回の主な対象は小学生以下にしています。ご了承ください。

「Ikeda_s」も 引き続き利用ください



生涯の成長を記録する

「Ikeda_s」は母子健康手帳の延長版として、利用者本人の健診情報など、生涯にわたる発達、成長の記録を一冊にまとめて共有できる冊子で、年齢を問わず誰でも使うことができます。

内容は、乳幼児健診や予防接種、所属機関などの基本情報を記録する「フェイスシート」と、運動や学習・就労準備など成長・発達による変化を記録する「現在の様子」の二部構成になっています。



そのため、「Ikeda_s」に成長の記録を残しておくことと本人の得意なことを伸ばすことに役立ちますし、就園・就学時には予防接種などの情報提供がスムーズになるメリットがあります。

また、「Ikeda_s」を使えば本人や家族と保健・医療・福祉・教育・就労など各機関の担当者が情報を共有することができます。もし支援が必要になった場合でも、「Ikeda_s」に情報を一本化しておけば継続的で一貫したサービスを受けることができます。

出前講座も実施します

28年3月末現在、約10000人の方が利用していますが、書き方などで困った際は、「Ikeda_s」の内容や記載方法などを説明する出前講座も行っています。詳細は発達支援課にお問い合わせください。

「Ikeda_s」利用の方は

「Ikeda_s」は発達支援課、健康増進課、池田市教育センター、障がい福祉課などで配布していますので、どうぞお越しください。

得意な事と苦手な事は 誰にでもあるもの

「発達支援」というと「発達障がい」をはじめ、要支援に結びつけてしまいがちですが、決してそうではありません。得意なことと苦手なことは誰にでもあり、「Ikeda_s」を使うことで、一人ひとりの強みを生かさせてあげています。そのため「Ikeda_s」は全市民の方を対象にしているのです。

多くの方に知って いただく機会になれば



大阪大学大学院教授
片山泰一さん

「Ikeda_s」は、市民の皆さん、市役所、専門家の方々が一緒になって作ったつながりシートです。赤ちゃんからお年寄りまで、お一人お一人の得意なこと、少し苦手なことを「生活」「発達」という観点からまとめることができるので、周りに自分のことを伝える時、思いつきではなく必要な事を漏れなく共有できるシートです。

その「Ikeda_s」がこの度、電子化され、新たな機能も加わって便利で簡単な形で登場することになります。これまで「Ikeda_s」をご存じでなかった方々にも「Ikeda_s」を知っていただく機会となること、開発者の一人として期待しています。

費用など明記されていないものは無料。申し込み日の表記がないものは2日休から。休館・休業日にご注意ください。申は申し込み、問は問い合わせ

募集

催し

税

保険年金

産業労働

環境安全

スポーツ

その他

福祉

高齢者

子ども

健康

男女共同参画週間

6月23日～29日は男女共同参画週間です。今年の標語は「意識をカイカク。男女でサンカク。社会をヘンカク。」この期間に合わせて市役所1階ロビーで啓発展示会（6月13日（月）～30日（木））を行います。

問 人権・文化国際課（☎754・6231）

子どもの人権110番強化週間

とき 6月27日（月）～7月3日（日）までの午前8時30分～午後7時（土・日曜日は午前10時～午後5時） 内容 じめ、不登校、体罰、児童虐待など子どもの人権問題 相談員 人権擁護委員、法務局職員 問 大阪法務局人権擁護部第三課（☎06・6942・9496）



市民後見人養成講座

とき 7月2日（土）午後2時～4時30分 ところ 豊中すこや

かプラザ 対象 25～69歳の市民と市内に勤務する方 高 齢・福祉総務課（☎754・6123）

国際交流センターからのお知らせ

開館時間などの変更 開館時間が午前9時～午後5時に、休館日が日曜日、第2土曜日、年末年始に変更になります

学習支援ボランティア養成講座 とき 7月2・16・23日（土）の午前10時～正午 ところ 国際交流センター 内容 日本語を母語としない子どもの学習支援のための心構えや指導方法など 定員 10人（先着順） 問 同センター（☎735・7588）



ボランティア講座

ボランティアあきつけ講座 とき 6月22日（水）午前10時～11時30分 ところ 保健福祉総合



介護予防教室

口からはじまる健康寿命と食生活の習慣と歯の健康 とき 6月22日（水）午後1時30分～3時

年金生活者等支援臨時福祉給付金

市役所4階で受け付けを行っています。早めの手続きをお願いします。

問 臨時福祉給付金等特設窓口（☎751・1104・1106・1107） ※対象などについてはお問い合わせください。

センター 定員 6人（先着順） ◎夏のボランティア体験プログラム とき 7月1日（金）～9月30日（金） ところ 市内施設 午前9時から電話でボランティアセンター（☎753・8858） ※ボランティアの日程などはお問い合わせください。

内容 口腔機能の講義と実習 対象 要支援・要介護の認定を受けていない65歳以上 定員 50人（先着順） ◎毎日できる脳活性と認知症予防の秘訣 ① とき 6月30日（木）午後1時30分～3時 内容 認知症予防の講義と実技 対象 65歳以上の市民 定員 50人（先着順） ところ 保健福祉総合センター ① 電話で介護保険課（☎754・6288）

敬老会館&万寿荘 介護予防教室

とき 6月16日（木）午前10時30分～11時30分 ところ 敬老会館 内容 地域包括支援センターについて 問 同館（☎762・1018）

いけるキャンパス

とき 6月22日（水）午後1時30分～2時 ところ 敬老会館 内容 スタジオミゲロンによるフラメンコショー 問 同館（☎762・1018）

みんなの居場所

とき 火・金曜日（祝日を除く）

障がいのある子どもたちに活動の場を 夏休みタイムケア事業

とき 7月25日～8月29日の月曜日午後1時～4時（各グループ1時間程度） ところ 保健福祉総合センター 内容 全身を使った運動遊び・ゲームやグループ交流 対象 保護者による送迎とグループ活動が可能な小学生～高校生で、発達障がい（自閉症スペクトラム、学習障がい、ADHD）の診断を受けている方、または療育手帳を取得している方。学童保育を利用されている方は不可 定員 25人程度（抽選） 申 6月10日（金）までに電話で発達支援課（☎754・6102）



く）の午前10時30分～午後2時 ところ 敬老会館 内容 ふれあいの場を提供 対象 60歳以上の市民 定員 1日5人 費用 600円 問 同館（☎762・1018）

さまざまな分野で活動

現在、83の団体が市に登録された公益活動団体として活動を行っています。活動内容は子育て・高齢者・障がい者支援などさまざまな分野にわたります。具体的には、教育相談や子どもの豊かな成長のための環境作り、高齢者・視覚障がい者のための録音テープの作成、日本文化を通じた国際交流、伝統文化の継承などさまざまです。

※公益活動団体の詳細は市ホームページをご覧ください。

今後も連携をはかります

本市は、このほどソフトバンク(株)と包括協定を締結しました。「かざして募金」を活用した施策や「e-Ikeda_s」(下記参照)に加え、今後は他の分野でも連携を図っていきます。



interview
公益活動団体インタビュー



いな 葉菜の会
いけだ地域栄養士会
山下 晶子さん

葉菜の会では、男性や妊婦、子ども向けなどさまざまな人たちを対象に健康を意識した料理教室などを月に3〜4回開催しています。少しでも多くの人に健康な生活を送ってもらえるように塩分を意識したメニューを心掛けています。

日々、料理教室での参加者との触れあいの中で新たな発見もあり充実した活動を行っています。運営にあたっては悩みもあります。公益活動団体ということもあり基本的には無償の活動になります。料理の試作にかかる材料費などは自分たちで工面しなくてはなりません。かざして募金で私たちのような団体を多くの方に知ってもらい支援の輪が広がればうれしく思います。

いいです。  -Ikeda_  イーイケダス

問い合わせは発達支援課 (☎ 754・6102)

皆さんの成長や発達の様子を、生涯にわたって記録できる冊子「いけだつながりシート Ikeda_s (イケダス)」の電子サービス「e-Ikeda_s (イーイケダス)」を6月から開始しました。7月1日現在、約200人の方が登録、利用しています。皆さんもぜひイーイケダスをご利用ください。



詳しくは <https://www.mchh.jp/login?lgcode=27204> をご覧ください。

今ならベビーモニターを無料レンタル

イーイケダスを利用している2歳以下の子どもを対象に、ベビーモニターの無料レンタルを行っています。

※利用には無線LANにつながる環境が必要です。



9/4 (日)

午前 10 時～
午後 4 時

市民健康フォーラム

ところどころ保健福祉総合センター

問い合わせ

健康増進課 (0754・6031)

車での来場はご遠慮ください



4階大会議室

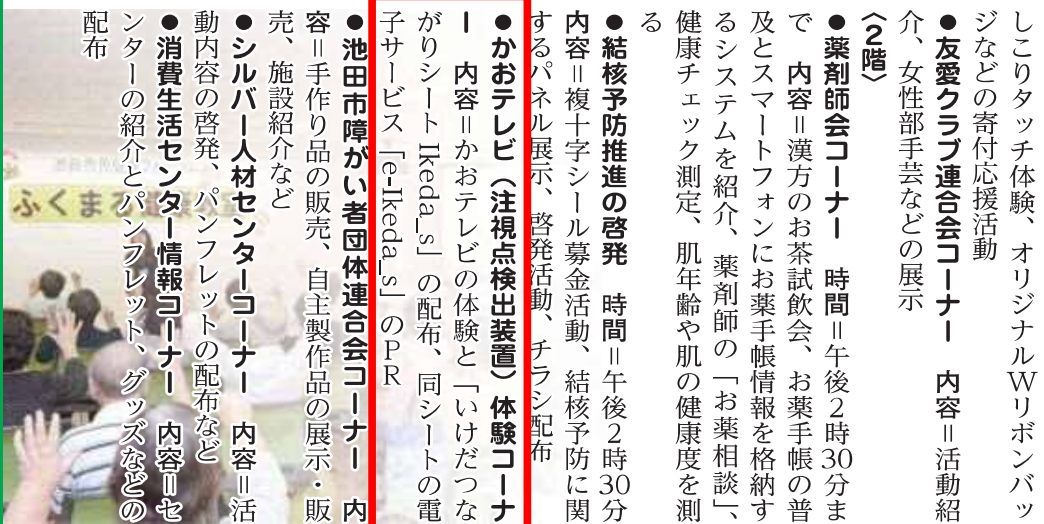
- 市立池田病院市民公開講座 時間 午前10時30分～正午 内容 整形外科部長・若林元さんによる「人工膝関節」、副院長・大河内敏行さんによる「腰部脊柱管狭窄症」
- ◎各種講演会 時間 午後0時45分～4時
- なぜ口から食べないといけないのか、なぜ口から食べることは怖いのか 内容 (一社)「OIC」代表理事・館村卓さんの講演
- 月経異常と婦人科疾患 内容 松崎産婦人科クリニック・松崎昇さんの講演

3階健康教育室

- ふくまる健康教室 健康体操でハツラツいつまでも 時間 午前10時15分～11時45分 内容 池田さつき会・橋本智子さんによるエクササイズ
- おなか満足！からだスッキリ！ふくまる弁当 時間 午後0時15分～1時30分 内容 弁当 50人 (先着順、午前9時45分から2階で受け付け) 費用 300円

イベントコーナー

- 午前10時から開始。イベントにより終了時間は異なります。
- 〈4階〉
- 医師による健康相談 (内科・外科・禁煙)、看護師による健康相談と在宅療養相談 時間 正午まで
- 救急相談コーナー 時間 午後3時まで 内容 応急処置指導や救命講習のPR、救急に関する相談など
- 大阪府柔道整復師会コーナー 時間 午後3時まで 内容 介護予防施術、子どもの転び方教室、ノルディックウォークの体験
- 大阪府看護協会コーナー 時間 午後3時まで 内容 看護相談、体スキャナー (身長や体重などの測定)、ハンドマッサージ、認知症予防
- 高齢者疑似体験教室 内容 高齢者や身体障がい者の身体機能を体験
- 〈3階〉
- 歯科コーナー 時間 午後1時まで 内容 歯磨き、顕微鏡、フッ素、咬合力テスト、食育、口腔内カメラ、8020運動表彰などのコーナー
- ピンクリボン大阪コーナー 内容 乳がん



- しこりタッチ体験、オリジナルWRリボンバッジなどの寄付応援活動
- 友愛クラブ連合会コーナー 内容 活動紹介、女性部手芸などの展示
- 〈2階〉
- 薬剤師会コーナー 時間 午後2時30分まで 内容 漢方のお茶試飲会、お薬手帳の普及とスマートフォンにお薬手帳情報を格納するシステムを紹介、薬剤師の「お薬相談」、健康チェック測定、肌年齢や肌の健康度を測る
- 結核予防推進の啓発 時間 午後2時30分 内容 複十字シール募金活動、結核予防に関するパネル展示、啓発活動、チラシ配布
- かおテレビ (注視点検出装) 体験コーナー 内容 かおテレビの体験と「いけどながりシート Ikeda's」の配布、同シートの電子サービス「eIkeda's」のPR
- 池田市障がい者団体連合会コーナー 内容 手作り品の販売、自主製作品の展示・販売、施設紹介など
- シルバー人材センターコーナー 内容 活動内容の啓発、パンフレットの配布など
- 消費生活センター情報コーナー 内容 センターの紹介とパンフレット、グッズなどの配布

■障がい児通所給付費の給付状況について（過年度との比較、現状など）

1) 25～27年度の実績、今後の見込みについて

		28年度			27年度 実績	26年度 実績	25年度 実績	
		予算額	4～7月	見込み				
給付費（円）		166,189,000	55,070,825	165,212,475	145,005,029	108,503,885	81,758,873	
利用者数（人）		2,240	711	2,133	2,018	1,519	1,049	
内 訳	児童発達支援	給付費（円）	65,000,000	20,308,517	60,925,551	66,976,192	62,578,842	60,173,604
		利用者数（人）	800	242	726	789	633	556
	医療型 児童発達支援	給付費（円）	2,200,000	427,642	1,282,926	1,957,147	1,992,984	3,353,254
		利用者数（人）	100	17	51	105	94	93
	放課後等 デイサービス	給付費（円）	98,789,000	34,248,395	102,745,185	75,974,734	43,739,113	18,146,965
		利用者数（人）	1,300	446	1,338	1,114	772	391
	保育所等 訪問支援	給付費（円）	200,000	86,271	258,813	96,956	192,946	85,050
		利用者数（人）	40	6	18	10	20	9

2) 28年度 1/3 半期（4～7月）の給付状況について

		4月	5月	6月	7月	小計
児童発達支援	給付費（円）	6,231,947	1,413,428	6,845,251	5,817,891	20,308,517
	利用者数（人）	82	21	78	61	242
医療型 児童発達支援	給付費（円）	178,844	78,644	73,656	96,498	427,642
	利用者数（人）	7	3	3	4	17
放課後等 デイサービス	給付費（円）	7,573,500	9,733,399	7,828,508	9,112,988	34,248,395
	利用者数（人）	106	102	115	123	446
保育所等 訪問支援	給付費（円）	0	21,510	31,190	33,571	86,271
	利用者数（人）	0	1	2	3	6
小計	給付費（円）	13,984,291	11,246,981	14,778,605	15,060,948	55,070,825
	利用者数（人）	195	127	198	191	711

<各サービス内容について>

- ①児童発達支援：就学前児を対象に、日常生活での基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などを提供。
- ②医療型児童発達支援：児童発達支援及び治療を提供。
- ③放課後等デイサービス：18歳未満の就学児を対象に、学校授業終了後または休校日に生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流促進などを提供。
- ④保育所等訪問支援：保育所や幼稚園などを訪問し、集団生活への適応のための専門的な支援などを提供。